



(議案第49号)  
 平成29年度日高市下水道事業会計決算の認定について  
 収益的収入及び支出は税抜きで、収入10億5千794万2千654円、支出9億9千349万4千714円で、収支差引6千444万7千940円の純利益である。  
 資本的収入及び支出は税込みで、収入6億3千158万8千643円、支出10億7千611万9千583円で、収支差引4億4千453万940円の資金不足となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金をもって補填した。  
 (全員賛成で認定)

## 「日高市交通政策に係る提言」を市に対して行いました

本市の交通を取り巻く様々な問題を的確にとらえ、市民生活の向上に向け、交通政策全般にわたった今後の施策の方向性について、専門的見地から討議、検討するために交通政策検討委員会を設置し、市民のためにより良い施策を市に提言すべく、日高市の公共交通の概要、公共交通の取組、旅客自動車運送事業、地域自主運行(横手台自治会 デマンド交通)についての勉強会を開催し、本市の公共交通について理解を深めてまいりました。

勉強会のまとめ及びそこから導き出されたものを提言書とし、9月定例会閉会日(9月21日)に市長に手渡しました。



勉強会の様子 (横手台自治会館)

## 日高市交通政策に係る提言書

人口減少を抑制するためには、市民が「住み続けたい」と思える環境づくりを図っていくことが必要である。そのためには買い物や通院などの移動手段に困らずに済む、いわゆる「おでかけ」の利便性の確保が求められる。

ついては、本市において実施されている交通政策に係る施策を基本としつつ、次のとおり内容の拡充等に関して提言を行うものである。

### (1)高齢者等の移動手段確保

移動手段の確保を念頭に置いた、交通施策の検討を多角的に進められたい。

### (2)地域自主運行事業

実現可能性については、地域性を考慮しながら検討を進められたい。

### (3)高齢者等おでかけ支援事業

①対象者の拡大：対象年齢の引き下げ

②補助内容の拡充：補助限度額の引き上げ

※なお、内容については概要を記載しています。

**自転車事故から身体を守るため、ヘルメットの着用に努めましょう!**

自転車用ヘルメットの購入費用を補助しています。(問い合わせ先 市役所交通政策課)

自転車に乗る時はヘルメットをかぶろうね

